

(様式2)

令和7年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	学校応援団参加延べ人数
柳井市立 伊陸小学校	9月～11月 発表会：11月19日	学校応援団 伝統継承部5名 (練習6回、発表会1回 延べ28名)
<p>1 活動名 「ふるさと伊陸 ～つなごう！伊陸神楽のころ～」 地域と連携した伝統継承</p> <p>2 活動内容 本校では、地域の伝統文化を児童に伝えることを目的として、学校応援団伝承継承部（伊陸神楽保存会）の方々と連携し、伊陸神楽の学習を継続して実施している。伊陸神楽は、地域に古くから伝わる貴重な文化財であり、保存会の皆様のご協力のもと、児童がその魅力に触れ、理解を深める機会を得ている。</p> <p>本年度も5・6年生児童が、神楽の歴史や意味を学んだ上で、伊陸神楽保存会の方に指導を受けながら、「湯立」「三鬼」「砂水」「六神」という四つの舞の練習に取り組んだ。練習を重ねる中で、児童は地域の文化に対する敬意と誇りを持ち、仲間とともに舞台をつくりあげる達成感を味わうことができた。11月の創立150周年記念式典・校内発表会では、多くの来賓や地域の方々の前で装束を身にまとった児童が、堂々とした姿で神楽を披露し、練習の成果を存分に発揮することができた。</p>   <p>このように、地域の方々と連携して伝統文化を学ぶ活動は、児童にとって貴重な体験となるとともに、地域とのつながりを実感する機会にもなっている。今後も、学校応援団「文化・伝承部」の皆様と協力しながら、地域の文化を未来へとつなぐ教育活動を継続していきたい。</p> <p>3 子どもたちの声</p> <ul style="list-style-type: none">○ 神楽を覚えるのは大変だったけど、みんなでそろって舞えたときはうれしかったです。○ 150周年の式典で神楽の衣装を着て舞台に立ったときは少し緊張したけど、地域の方がたくさん見てくれてうれしかったです。 <p>4 学校応援団の方の声（感想など）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子どもたちが一生懸命に練習してくれ、教えていてとても嬉しかった。地域の宝である神楽を、次の世代に伝えていくことの大切さを改めて感じた。・ 最初は恥ずかしそうにしていた子も、だんだんと自信をもって舞えるようになっていく姿に感動した。・ 神楽を通して、子どもたちと心が通じ合う瞬間が多くあった。		